

室蘭工業大学同窓会札幌支部設立70周年記念座談会

テーマ:70周年を振り返り、未来へ託す

室蘭工業大学同窓会札幌支部は今年で70周年を迎えました。70周年を振り返り、未来へ託すということで、先輩達の後を継ぐ札幌支部の皆さんにお集まりいただき、座談会を開催しました。

参加者 山本寿美 (土木工学科 昭和61年卒) 野呂昌司 (土木工学科 平成4年卒)
松本剛 (開発工学科 平成5年卒) 岩本英規 (土木工学科 平成5年卒)
石川孝志 (建設システム工学科 平成11年卒)

司会 宮崎雅年 (応用物性学科 昭和59年卒)

1. 自己紹介

司会:私は現在、北海道電力ネットワーク株式会社で内部監査の仕事をしており、主にシステム監査を担当しています。皆さん、現在どのようなお仕事をされていますか。公表できる範囲でお願いいたします。

山本:株式会社田中組で土木部長をしています。

石川:伊藤組土建の建築部技術管理課で、各現場のバックアップ業務を主に行っております。2024年からスタートした業務時間規制に対応する業務です。

野呂:株式会社熊谷組北海道支店土木事業部営業部、総括部長をしています。北海道全域の官庁工事、民間工事の受注活動を行っています。

松本:岩田地崎建設株式会社 技術部所属です。工事現場で発生する様々な課題・問題に対し技術支援を行っています。また大型工事案件では、技術提案にも関わっています。

岩本:札幌市水道局で配水管の工事や維持管理を行っています。

司会:皆さんどのような学生時代を送っていましたか。私が学生だった頃は、学生マンションができた頃でしたが、下宿生が大半だったと思います。下宿の先輩達と安くてたくさん酔える焼酎を飲んでいました。

山本:あまり勉強には熱心でなかったせいか、勉強や試験では土木部の友人達に非常に助けられました。

4年で卒業できたのは彼らのお陰だと今でも思っています。4年間学び舎を共にした学友とは、今なお付き合いが続いています。年に何回か集まって飲む機会がありますが、毎回昔話に花が咲き、毎回同じ話で、毎回同じところで笑う、時間の経過を感じさせない学友たちです。

岩本:苦学生であったので、バイトを掛け持ちしていました。

石川:部活は陸上部。いい先輩に出会うことができ、お酒と釣りにハマりました。

野呂:現在はゴルフ部になるっているようですが、当時同好会だったゴルフ同好会に所属しており、キャディのアルバイト、ゴルフ練習に明け暮れる日々でした。現在は閉鎖されている登別温泉ゴルフ場、ルスツ高原がホームコースでした。当時は文化女子短期大学に関東から多くの学生が来ていたのでゴルフ同好会を通してその方々との交流も盛んでした。

松本:あまり勉強をした記憶はなく、友人たちとの関りを重視していました。

司会:進路をどのように考えて現在の仕事に就きましたか。私は大学の専攻とはほとんど関係のない仕事になっていますが……。

野呂:土木工学科でしたので、実際にモノづくりに携わることができるゼネコン一択でした。

山本:道内企業が志望だったので、それを就職担当の教授に伝えると、「田中組に行きなさい」と言われ、今に至っております。その時初めて田中組の存在を知りました。

岩本:父親がリストラにあったこともあり、地元の室工大に進み、職が安定している公務員を目指しました。

松本:建設業に以前から興味があり、道内のゼネコンに就職しました。

石川:漠然と建築物を造る業務に関わりたいと考え建設システム工学科に入学しました。設計と施工で悩みましたが、紙上ではなく実際に手を動かす職人さんとともに建物を作りたいと考え、この会社に入社しました。

2. 同窓会との関わりについて

司会:同窓会との関わりについて教えてください。

職場での同窓会活動についてお尋ねいたします。

私の会社では、北海道電力と一緒に北電水元会という名称で同窓会が組織されていて、年1回総会懇親会を開催しています。皆さんの職場では同窓会が組織されていますか。

松本:継続的な同窓生の入社がなく、また高齢化により活動休止状態です。

岩本:職場では全学科の集まりとして水元会があるほか、土木のみの集まりがあります。

石川:弊社内での同窓会活動は特にありません。

野呂:特にこれといって活動はしていませんが、同窓のメンバーにはリクルート活動で行事に参加してもらったり、現場見学の際に対応してもらったりしています。

司会:職場での同窓会活動の内容について教えてください。

山本:社内では室工大の土木・建築・開発・情報卒の現役社員と退職された元社員とで水元会という名の親睦会を年1回開催しています。今年は、下は24歳から上は93歳と年の差69歳の飲み会でしたが、近況報告や趣味の話などで和やかな会になっています。

松本:コロナ渦前までは、忘年会を開催していました。

岩本:以前は定山溪に泊まって親睦会を行っていましたが、現在は年1回の総会などを行っています。

司会:参加の状況はどうですか。

岩本:昔に比べると参加率は落ちているとは思いますが、幹事の頑張りもあって半数程度は参加していると思います。

山本:建設業なので、若い社員は道内各地の現場に張り付いているため、物理的に参加が難しい状況です。現業から離れた年寄といえますかベテラン社員しか同窓会活動に参加できない現状です。

石川:自身は札幌支部の幹事としていろいろな行事に参加させてもらっています。同僚に行事の連絡をしますが、現場配属者が多く、なかなか参加してもらえないのが現状です。

野呂:リクルート活動では若い人に参加してもらおうようにしています。割と皆さん協力的です。



野呂 昌司
(土木H4年卒)

司会:仕事の上での同窓生とのエピソードがあればお話しいただけますか。

山本:約20年前に先輩副支部長の笹浪さんと仕事上の付き合いで初めてお会いした時、強面で押しの強いイメージが第一印象だったので、同窓だと言って

くれた時、ホッとした思い出があります。付き合っていくうちに、優しくてダンディな方だとわかりましたが(笑)。今では社長という忙しい身でありながら、弊社協力会の副会長にもなってもらっています。

松本:過去に他社の同窓先輩に仕事上の相談をする場合がありましたが、親身になって相談に乗って頂きました。

野呂:私が所長を務めていた作業所では全職員8名のところ、同窓生が5人ということがありました。そのように仕向けて人選したわけではありませんが、偶然そうになりました。当然チームワークは良かったです。

司会:同窓生だと分かって仕事が円滑に進んだ経験はありますか。

石川:自身の所属する部署の業務として、対外的なものが少ないため同窓生として仕事もうまくいったということは特にありません。

山本:同窓だからと言って、変に先輩風を吹かしたり、媚びたりするのも性に合わないので、同窓であることを前面に出したことは無かったですね。なので仕事に関して有利に運んだという事も無かったです。

野呂:特別同窓だから何かを配慮するとか、されるとかは無いような気がします。他社の方と話していて同窓だとわかると確かに親しみがわく場合が多いので、コミュニケーションを取りやすくなるということはあると思います。

司会:私は現在副支部長として札幌支部の活動に参加していますが、皆さんはどうでしょうか。

石川:札幌支部の幹事として参加しています。

松本:私も幹事として参加しています。

野呂:10年ほど前から様々な会合等に参加するようになりました。今年から幹事として参加させてもらっています。

岩本:令和元年から幹事として参加しています。

山本:昨年の6月から参加しています。

司会:私は社内同窓会の先輩から札幌支部の活動を引き継ぐように言われて参加したのですが、皆さんは札幌支部の活動に参加することになったきっかけ

は何ですか。

松本:札幌支部幹事会に会社の同窓先輩が参加できなかったため、代理で出席したことです。その場で受動的に参加することになりました。

石川:35歳くらいの時に、ふと「人生の折り返しが近い」と思いました。大学の同窓会をはじめ、社外活動に時間をかけようと思ったのがきっかけです。

野呂:人脈の形成で役立つと思ったのがきっかけです。

山本:弊社先輩社員から引き継ぐ形で参加するようになりました。



山本 寿美
(土木S61年卒)

岩本:職場の先輩からの勧めで参加することになりました。

司会:札幌支部の活動に参加するに際して、どのような役割を担っていますか。

山本:昨年は幹事、今年から副支部長の担当になっています。

松本:幹事の役割を担っています。

岩本:幹事としてイベント当日の受付等を行っています。

石川:会計を担当しております。

司会:職場での同窓会活動に参加していますか。

山本:年1回、現役社員とOB社員による懇親会を開いています。

岩本:最近はあまり参加していなかったのですが、昨年久々に総会に参加しました。

司会:職場での同窓会ではどのような役割を担っていますか。

山本:同窓の総務部長が仕切っているのですが、役割というのは特に無いです。

3. 同窓会の現在について

司会:現在の同窓会活動について、ご意見やご感想をお聞かせください。

山本:新年交礼会、総会、秋の講演会などを通して、学校と卒業生とのいいパイプ役となっていると思います。また違う学部の卒業生とも親睦が深まり、交友関係の幅が広がるので、もっと参加者が増えることを望みます。

松本:札幌支部総会・講演会・懇親会などの打合せや当日の運営手伝いを行っています。

石川:新年交礼会、総会、技術講演会など、定期的な行事はあるものの、若手が少ないのが気になっています。

司会:札幌支部での活動に難しさは何だと思えますか。

松本:突然の現場対応業務が発生するため、活動に参加できないことが多々あります。



松本 剛
(開発H5年卒)

司会:札幌支部の活動についてどう考えていらっしゃいますか。

石川:やさしい先輩とともに頑張っていきたいと思います。

松本:支部役員の方々が、忙しい合間を縫って活動に参加しており、私も微力ながら協力していきたいと考えております。

野呂:同窓会が活性化すると大学そのものの発展にもつながるので、積極的に参加したいし、やれることはやっていきたいと思っています。

岩本:活気があって非常に良い支部だと思うので、少しでも力になれるよう頑張っていきたいと思っています。

山本:今現在、道内に就職しやすい土木、建築、開発の卒業生を中心に活動しているが、もっと他の学部の卒業生も加わると、より活性化していけると思っています。

4. 同窓会の今後について

司会:今後の同窓会のあり方についてご意見をお聞かせください。

石川:裾野を広げていきたいとは考えていますが、手段が思いつきません。

松本:老若男女の卒業生が母校の発展に協力していく場所であることが理想と考えます。

山本:若い世代への敷居を低くし、若者がもっと参加しやすくしていかなければならないと思います。

岩本:年代を問わず参加者が楽しめる会にしていきたいと思っています。また、今後は役員のなり手の不足も考えられることから、負担軽減のため、もう少し行事を絞っても良いのではないかと考えています。

司会:同窓会本部や札幌支部にどのような活動を期待しますか。

石川:新卒者の勧誘に加え、ある程度自由が利く年代、例えば卒業後20年を経た同窓に行事への参加を求めているかがでしょうか。その年代の名簿が同窓会本部にあればいいのですが、いかがでしょう。

司会:同窓会名簿が同窓会本部に存在します。申請すれば借りることができます。

松本:卒業生と大学の間を取り持ち、コミュニケーションをつなぐ活動ができればと期待しております。

山本:アナログな私が言うのもなんですが、卒業生にもっとこの同窓会をアピールしていくためには、やはりホームページをもっと充実させていかなければならないと思います。

野呂:講演会や懇親会など定期的に開催し、多くの人たちが集まることにより業界や大学が活性化して、最終的には社会貢献に繋がっていくというのが理想だと思います。

司会:どのような同窓会活動に参加したいと思いますか。

松本:同窓会活動の参加者が高齢化しているため、参加年齢層に偏りのない同窓会活動であれば、だれもが楽しめると思います。

山本:今の活動くらいが丁度いいです。

司会:若い同窓生の参加を促すためにどうしたらよ

いかにご意見をお聞かせください。

野呂:若いうちは地方の現場勤務だったり、業務多忙でなかなか参加は難しいかもしれませんが、同窓会活動に参加すると他社や異業種の方々と知り合うことができ、世界が広がります。若いうちから頻繁でなくてもよいので、参加できるときには参加していただければと思います。

松本:若年層の同窓生が気軽に参加できる催しを提供できればと考えますが、なかなか難しい事も承知しています。

岩本:なかなか難しいと思います。私の職場でも飲み会に参加しない若手職員も多くなってきました。個人的には、ある程度年齢を重ねて必要性を感じられたら来ていただければいいと思っており、それまでしっかりと会を盛り上げていければと考えています。

山本:若い人たちはあまり同期会などを開いていないと聞きます。音頭を取る人がいないとなかなか出来ないものです。20代30代の若い人たちの為にその代替りの場としてこの同窓会(例えば新年交礼会や総会)を利用出来ないかと思います。同期や同世代と同じテーブルで話せるとなると気楽に参加できるようになると思います。例えば各学部の同期でLINEのグループなどを作ってもらい、同窓会への周知と参加を促すのもいいかもしれません。



石川 孝志
(建設システムH11年卒)

司会:同窓会活動に参加していない先輩・後輩に向けて一言お願いいたします。

石川:一度だけでもいいので参加してみたいと考えると、しばらく会っていなかった友達にも会え

るかもしれません。

山本:同窓会というだけで既に垣根の低い、純粋に同窓会の発展に寄与したいと考えているメンバーの集まりです。今いる固定化されたメンバーだけではマンネリ化になりやすく、活性化を促すためにも、メンバーの入れ替えは必要であると考えます。是非参加を前向きに考えて頂きたいですね。

松本:同窓会活動に参加することは社外以外の先輩・後輩同窓生とも繋がり、また母校への帰属意識も高まることになるので、ご一考頂ければと思います。

岩本:「同期や先生に会いにきた」くらいの軽い気持ちで気軽に参加してほしいです。



宮崎 雅年
(応用物性S59年卒)

司会:同窓会活動を支えてきた先輩に向けて一言お願いいたします。

岩本:これまで長らく同窓会を支えてくれたご先輩方々、大変お疲れ様でした。

石川:今後ともよろしくお願いいたします。

山本:それぞれ職を持ち忙しい中でのボランティア活動です。言葉で言うほど簡単なものではありません。札幌支部の存続発展に長年力を注いで頂いた先輩諸氏には深く敬意を表したいと思います。

松本:長年にわたり同窓会活動を支えて頂いた諸先輩方に、深く感謝と敬意を表します。

司会:丁度時間となりました。皆さん、今日はお忙しいところお時間をいただきましてありがとうございました。

札幌支部 沿革 (2015～2024)

| | | 札幌支部沿革年表 | 社会の情勢 |
|-------------|---------|--|---|
| 2015(平成27)年 | 2・3月 | 第35回囲碁・麻雀大会 囲碁16名・麻雀24名参加 | 首相 安倍晋三 |
| | 4月 | ●空閑 良壽 学長に就任 | (9月) ラグビー W杯で日本が南アフリカに逆転勝利 |
| | 6月 | 支部総会・懇親会 札幌グランドホテル 110名参加 | (12月) 大村智氏ノーベル生理学・医学賞、 梶田隆章氏ノーベル物理学賞授賞 |
| | 6・8月 | ゴルフ同好会開催 エルム・茨戸 延べ45名参加 | |
| 2016(平成28)年 | 2月 | 講演会 かでる2・7 60名参加 | (4月) 熊本地震 |
| | 2・3月 | 第36回囲碁・麻雀大会 囲碁16名・麻雀20名参加 | (5月) オバマ米大統領現職として初めて 広島訪問 |
| | 6月 | 支部総会・懇親会 札幌グランドホテル 130名参加 | (8月) リオオリンピック・パラリンピック 開催 |
| | 6・10月 | ゴルフ同好会開催 エルム・エルム 延べ45名参加 | (12月) 大隅良典氏ノーベル生理学・医学 賞授賞 |
| | 11月 | 講演会 かでる2・7 46名参加 | |
| 2017(平成29)年 | 1月 | 新年交礼会 ホテル札幌ガーデンパレス 61名参加 | (1月) トランプ第45代米大統領に就任 |
| | 3月 | 第37回囲碁・麻雀大会 囲碁17名・麻雀20名参加 | (3月) 稀勢の里第72代横綱に推挙 |
| | 6月 | 支部総会・講演会・懇親会 札幌グランドホテル 110名参加 | |
| | 6・8・10月 | ゴルフ同好会開催 エルム・リージェント・茨戸 延べ88名参加 | (10月) 第四次安倍晋三内閣発足 |
| | 10月 | 第38回囲碁・麻雀大会 囲碁14名・麻雀12名参加 | |
| | 11月 | 講演会 TKPガーデン札幌駅前店 80名参加 | |
| 2018(平成30)年 | 1月 | 新年交礼会 ホテル札幌ガーデンパレス 90名参加 | (2月) 平昌冬季オリンピック・パラリンピック 開催 |
| | 6月 | 支部総会・講演会・懇親会 札幌グランドホテル 125名参加 | (9月) 北海道胆振東部地震 |
| | 6・8・10月 | ゴルフ同好会開催 エルム・リージェント・茨戸 延べ71名参加 | (12月) 本庶佑氏ノーベル生理学・医学 賞授賞 |
| | 11月 | 第39回囲碁・麻雀大会 囲碁14名・麻雀20名参加 講演会 TKPガーデン札幌駅前店 80名参加 | |
| 2019(平成31)年 | 1月 | 新年交礼会 ホテル札幌ガーデンパレス 185名参加 | |
| | 2月 | ボウリング大会 デイノス 40名参加 | |
| 2019(令和元)年 | 4月 | ●理工学部へ改組 | |
| | 6月 | 支部総会・講演会・懇親会 ホテルポールスター札幌 109名参加 〈新役員〉支部長 高宮則夫(開発工学科 昭和47年卒) 顧問 瀬川修一(土木工学科 昭和44年卒) | (5月) 元号が「平成」から「令和」へ |
| | 8・10月 | ゴルフ同好会開催 リージェント・エルム 延べ57名参加 | (10月) 消費税率が10%に 沖縄 首里城火災 |
| | 10・11月 | 第40回囲碁・麻雀大会 囲碁10名・麻雀20名参加 | (12月) 吉野彰氏ノーベル化学賞授賞 |

| | | 札幌支部沿革年表 | 社会の情勢 |
|------------|---------|---|---|
| 2020(令和2)年 | 2月 | 新年交礼会 ホテル札幌ガーデンパレス 174名参加 | (2月) 新型コロナウイルス感染症第一波 |
| | 4月 | ●研究基盤設備共用センターを設置 | (4月) 緊急事態宣言発令 |
| | 6月 | 支部総会・講演会・懇親会 ホテル札幌ガーデンパレス 中止 | (9月) 菅義偉内閣発足 |
| | 8・10月 | ゴルフ同好会開催 リージェント・エルム 延べ53名参加 | |
| 2021(令和3)年 | 1月 | 講演会 オンライン開催 119名参加 | (1月) バイデン第46代米大統領に就任 |
| | | 新年交礼会 ホテル札幌ガーデンパレス 中止 | (2月) 新型コロナワクチン接種開始 |
| | 6月 | 支部総会・講演会・懇親会 ホテル札幌ガーデンパレス 中止 | (7月) 東京オリンピック・パラリンピック開催 |
| | 8・10月 | ゴルフ同好会開催 リージェント・エルム 延べ53名参加 | (9月) 照ノ富士第73代横綱に推挙 |
| | 11月 | 講演会 オンライン開催 82名参加 | (10月) 岸田文雄内閣発足 (12月) 眞鍋淑郎氏ノーベル物理学賞授賞 |
| 2022(令和4)年 | 1月 | 新年交礼会 ホテル札幌ガーデンパレス 中止 | |
| | 2月 | 北海道支部連合会議 オンライン開催 14名参加 | (2月) 北京冬季オリンピック・パラリンピック開催 |
| | 6月 | 支部総会・講演会・懇親会 ホテル札幌ガーデンパレス 75名参加 | (7月) 安倍晋三元首相銃撃事件 |
| | 6・8・10月 | ゴルフ同好会開催 エルム・リージェント・エルム 延べ103名参加 | |
| | 11月 | 講演会 オンライン開催 95名参加 | |
| 2023(令和5)年 | 2月 | 新年交礼会 ホテル札幌ガーデンパレス 133名参加 | |
| | 3月 | 北海道支部連合会議 オンライン開催 12名参加 | (3月) WBCで日本優勝 |
| | 4月 | ●MONOづくりみらい共創機構、地域連携人材育成センター、コンピュータ科学センターを設置 | (5月) 新型コロナウイルス感染症の感染症法上の扱いが5類に移行 |
| | 6月 | 支部総会・講演会・懇親会 ホテル札幌ガーデンパレス 94名参加 | |
| | 6・8・10月 | ゴルフ同好会開催 エルム・エルム・エルム 延べ95名参加 | (10月) 藤井聡太竜王 八冠独占 |
| | 11月 | 第41回麻雀大会 16名参加 講演会 ホテル札幌ガーデンパレス 73名参加 | |
| 2024(令和6)年 | 2月 | 新年交礼会 ホテル札幌ガーデンパレス 159名参加 | (1月) 能登半島地震 |
| | 3月 | 北海道支部連合会議 オンライン開催 12名参加 | |
| | 4月 | ●松田瑞史 学長に就任 | |
| | 6月 | 支部総会・講演会・懇親会 ホテル札幌ガーデンパレス 102名参加 〈新役員〉支部長 中村範仁(電気工学科 昭和62年卒) 顧問 高宮則夫(開発工学科 昭和47年卒) | (7月) 新紙幣 発行 (8月) パリオリンピック・パラリンピック開催 |
| | 6・8・10月 | ゴルフ同好会開催 エルム・エルム・エルム 延べ95名参加 | (10月) 石破茂内閣発足 |
| | 11月 | 第42回麻雀大会 16名参加 | |
| | 11月 | 講演会 ホテル札幌ガーデンパレス 71名参加 | (12月) 日本原水爆被害者団体協議会 ノーベル平和賞受賞 |

室蘭工業大学同窓会札幌支部設立70周年記念支部総会・講演会・懇親会



総会 会場風景



総会 会場風景



総会議長



事務局



講演会 会場風景



講演会



講演会 参加者



講演会 参加者



懇親会 会場風景



新役員紹介



懇親会 会場風景



原田小樽支部長近況報告



河村副支部長感謝状贈呈紹介



山本副支部長乾杯挨拶



新人紹介



寮歌斉唱

秋の講演会・活動報告会



会場風景

講演テーマ：自然災害と防災

講師：室蘭工業大学 副学長・
大学院工学研究科もの創造系領域 教授
川村 志麻 様

主催：札幌支部

後援：水元技術士会
MONOづくりみらい共創機構



会場風景



会場風景



講演の様子



会場風景



講演の様子



会場風景



同窓会長 挨拶



副支部長 開会の辞



支部長 挨拶



水元技術士会長 挨拶



質疑応答



懇親会司会



会場受付



講演会司会